

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	道路事業				
地区名	一般県道加茂川志賀線（桂野工区）				
事業箇所	愛知県豊田市桂野町～豊田市中垣内町				
事業のあらまし	<p>豊田市南部に位置する一般県道加茂川志賀線は、豊田市内を通る延長6.7kmの路線であり、主要地方道岡崎足助線を経由して国道248号や国道301号へアクセスする地域の重要な道路である。</p> <p>当該事業区間では、線形が不良なため見通しが悪く、また、幅員狭小で車両のすれ違いが困難であることから、円滑な交通の妨げとなっている他、交通安全の面でも課題となっている。</p> <p>そこで、当地域の交通の円滑化及び歩行者の安全確保を図るため、現道拡幅事業を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備（地域交通の円滑化）</p> <p>(2) 交通安全対策の強化（歩行者の安全性向上）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2016年度)	再評価時 (2020年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2016年度 ～2020年度	2016年度 ～2023年度	・河川管理者との協議に伴う護岸工の追加や、物件調査の結果による補償物件の追加	
	事業費（億円）	6.0	13.0		
	経費内訳	工事費	4.0		6.9
		用補費	1.5		5.4
その他		0.5	0.7		
事業内容	現道拡幅 延長L=1.1km 幅員W=9.75m 2車線	現道拡幅 延長L=1.1km 幅員W=9.75m 2車線			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備</p> <p>(2) 交通安全対策の強化</p> <p>・線形不良・幅員狭小であり、車両のすれ違いが困難な上、歩行者が危険な状況であることから、当地域の交通の円滑化を図る現道拡幅及び、歩行者の安全確保の観点から歩道整備が必要である。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備</p> <p>(2) 交通安全対策の強化</p> <p>・現状においても、車両のすれ違いが困難な上、歩行者が危険な状況は変わらず、当地域の交通の円滑化や歩行者の安全確保が必要である。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>・変動要因なし</p>			

判定	B	A：事業着手時に比べ必要性が増大している。 B：事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C：事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。																																																		
	【理由】 地域交通の円滑化や、歩行者の安全性向上のため、引き続き事業の必要性がある。																																																			
1) 進捗状況	【事業計画及び実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2016～2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>←→→→→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>←→→→→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>当初計画</td> <td>5.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>5.1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td>5.1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7.9</td> <td>13.0</td> </tr> </tbody> </table>				2016～2019	2020	2021	2022	2023	合計	工種区分	調査・設計	←→					/	用地補償	←→→→→					工事	←→→→→					事業費(億円)	当初計画	5.0	1.0				6.0	実績	5.1					5.1	今回計画	5.1				7.9	13.0
			2016～2019	2020	2021	2022	2023	合計																																												
工種区分	調査・設計	←→					/																																													
	用地補償	←→→→→																																																		
	工事	←→→→→																																																		
事業費(億円)	当初計画	5.0	1.0				6.0																																													
	実績	5.1					5.1																																													
	今回計画	5.1				7.9	13.0																																													
【進捗率】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>1.1</td> <td>0</td> <td>0%</td> <td>1.1</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>5.0</td> <td>5.1</td> <td>102%</td> <td>13.0</td> <td>39%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>3.0</td> <td>2.8</td> <td>93%</td> <td>6.9</td> <td>67%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>1.5</td> <td>1.6</td> <td>107%</td> <td>5.4</td> <td>41%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.5</td> <td>0.7</td> <td>140%</td> <td>0.7</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率(面積ベース)は、約52%</p>			これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	1.1	0	0%	1.1	0%	事業費(億円)	5.0	5.1	102%	13.0	39%	工事費	3.0	2.8	93%	6.9	67%	用補費	1.5	1.6	107%	5.4	41%	その他	0.5	0.7	140%	0.7	100%										
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																															
延長(km)	1.1	0	0%	1.1	0%																																															
事業費(億円)	5.0	5.1	102%	13.0	39%																																															
工事費	3.0	2.8	93%	6.9	67%																																															
用補費	1.5	1.6	107%	5.4	41%																																															
その他	0.5	0.7	140%	0.7	100%																																															
2) 未着手又は長期化の理由	・河川管理者との協議により、護岸工が追加が必要となったため。																																																			
3) 今後の事業進捗の見込み	【阻害要因】 ・河川管理者との調整は完了し、大きな阻害要因はない。 【今後の見込み】 ・2023年度までに事業が完了する予定である。																																																			
判定	B	A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか(該当する項目に「○印」を付ける) ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。																																																		

②事業の進捗状況及び見込み

	<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は大きな阻害要因はなく、2023 年度までに事業完了が見込まれるため。
<p>Ⅲ 対応方針（案）</p>	
<p>継続</p>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。</p>
<p>Ⅳ 再評価実施の有無と主な評価内容</p>	
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度</p>	